



運営委員会だより

大宮小学校 P T A

◆ 第2回 ◆

開催日 平成29年 7月4日

発行日 平成29年 7月5日

◆ PTA会長あいさつ

平山 健介 会長

リオ五輪で活躍した競泳の池江瑠花選手を憶えている方は多いかと思います。2020年の東京五輪争いは19歳ですが、金メダルラッシュを期待したい選手です。その池江選手の強さの秘訣が「雲梯（うんてい）」だったようです。

雲梯胡腕を伸ばしてぶら下がることにより、背骨を真っ直ぐにし、胸を広げます。胸郭と肺の成長を促し、より成熟した呼吸機能、より多くの酸素が脳に供給されるようになります。また雲梯は受動握力の能力を高めることが発表されており、能力の高いアスリートは、この「受動握力」が高いことが分かっています。そして雲梯の特徴としては、遊びの中で身体を鍛えることができることにあります。

大宮小の雲梯もなかなか立派です。夏休みが明けるとすぐに運動会です。運動会に向けて、あおぎっ子のみならずは是非、雲梯でたくさん遊んで、運動会への良い準備をして欲しいと思います。

運動会といえば、保護者の皆さまにお願ひがあります。昨年に続き今年もレジャーシートは日が昇ってから敷くようにご協力お願ひします。またシートを敷いた後は基本、無人にならないようお願ひ致します。どうしても仕方なく無人になる場合は、シートが風で飛ばないようにしっかり固定してください。ペットボトルを四隅に置く程度では飛ばされますのでご注意ください。以上、よろしくお願ひ致します。

◆ 校長あいさつ

西川 和利 校長

早いもので、今年も折り返しとなりました。7月のこの時期が一年で最も日の入りが遅く、昨日までが午後7時2分でした。今日から、だんだんと日の入りが早まってきますが、暑さはこれからが本番です。お子様の体調管理をよろしくお願ひいたします。

さて、先週の土曜日に、大宮東中学校学校評議員連絡会・学校関係者評価委員会に出席しました。会議では、日々の教育活動の発信が話題になりました。東中学校と本校のホームページは、市教委のWebページ研修会で更新の手本となっています。本校のホームページと併せて、ぜひ大宮東中学校のホームページもご覧ください。

また、昨日は、合同地区懇談会があり、地元の自治会長様をはじめ子ども会や関係団体の代表の方々など多くの皆様にご出席をいただきました。会議では、防犯や道路の危険箇所など交通安全に関する話題の他、子どもたちを見守っていただいていることへの感謝の気持ちも伝えられました。多くの地域の皆様に支えられ育てていただいていることを本当にありがたく思っています。担当の文化安全指導部の皆様、ありがとうございました。

ところで、昨年は、この時期に、関係者を名乗って巧妙に電話番号を聞き出す事案が発生しています。夏休みを控えご家庭でも注意をお願いします。

最後に運動会に関するお知らせが2点あります。1点目は、運動会の予備日が年間の実施回数関係で給食となります。2点目は、人数の偏りが出てきたため、地区対抗リレーの地区分けを見直します。新しい地区分けについては、2学期の学校だより、運動会のプログラムでお知らせします。以上、よろしくお願ひいたします。

*** 議 事 ***

◇絆缶（アルミ缶）回収について

絆缶回収にご協力いただきまして、ありがとうございます。2学期は9月・10月・11月の第4金曜日に回収します。

きれいに洗って、つぶさずにお持ちください。引き続きご協力よろしくお願い致します。

◇夏休みについて

夏休み地域の行事（ラジオ体操・夏祭り・子ども会など）にぜひ参加ください。

《活動報告・各学年》

- 《6年》 特になし
- 《5年》 5/22 館岩集金のお手伝い
- 《4年》 自転車免許教室(各クラス数名引率)
- 《3年》 5/17 学区内探険の引率
- 《2年》 6/14 まち探険付添いボランティア
- 《1年》 特になし
- 《みやのこ》 特になし

●次回開催●
第3回 9月26日(火)
10:00~ 第二会議室

《 活動報告 》

本 部

- 5/16 第1回運営委員会
- 5/23 青少年育成さいたま市民会議第1回運営委員会
- 5/25 大宮区連合会定期総会・懇親会
- 5/26 防犯ボランティア連絡協議会総会
- 5/27 青少年育成中部地区会総会
- 5/29 社協総会・懇親会
- 6/1 大宮区連合会第1回役員会
- 6/2 第1回学校評議員連絡協議会
同日 あおぎり会例会
- 6/10 JRC 登録式
- 同日 さいたま市PTA協議会定期総会・懇親会
- 6/13 アルミ缶業者引渡し
- 同日 大宮区連合会副会長会
- 6/17 大宮東中学校体育祭
- 同日 第2回中部地区体育施設開放運営委員会
- 6/24 青少年育成さいたま市民会議本部総会
- 6/27 大宮東小学校子どもひなん所 110 番の家
設置協力者交流会
- 7/3 地区・PTA・大宮小学校合同懇談会

総 務 部

- 5/16 ベルマーク当番表作成、部内係決め
- 5/22 ベルマークだよりNo. 1 配布
- 6/6 ベルマーク講演会出席
- 6/12 第1回ベルマーク集計・発送
- 6/14 ベルマークだよりNo. 2 配布

文化安全指導部

- 6/16 第二回部会
- 7/3 地区・PTA・大宮小学校合同懇談会開催
(来賓者 32 名、学校関係者 25 名出席)
- 7/4 クリーン活動へ 2 名参加
- 7/12 第1回学校保健委員会 13 時 30 分~
- 7/19, 20 カーテン引き取り(保護者)
- 8/21~23 カーテン返却(保護者)
- 7/4 地区懇談会準備作業

広 報 部

- 6/12 第三回部会
撮影15回「あおぎり」入稿、確認

6月13日、大宮区の小・中学校の副会長が集まる「大宮区連合会 副会長連合会」に参加し「親子支援プログラム」の講習を受けて参りました。

さいたま市では、人と接する際に必要な姿勢や態度・感情のコントロールの仕方などを、模擬体験を通して学ぶ「人間関係プログラム」の授業を市立全小・中学校（小学3年生から中学1年生）で実施しています。本年度で12年目となるそうです。この学校で学んだ人と接する際に必要な様々なスキル（技術）を定着させる為には、家庭における暖かい親子のふれあいやコミュニケーションが大切です。

今回の講習の「親子支援プログラム」は親が積極的に子どもに関わり、子どもとのコミュニケーションを豊かにするスキルを習得する為のプログラムです。

はじめに、実際に学校の授業で行われている「人間関係プログラム」の2つを行いました。①仲間さがし②ほめほめ大会です。①仲間さがしでは、血液型、兄弟の数、目玉焼きには何をかける、などをテーマにして仲間さがしを行います。仲間を探す為には積極的に自己開示をする必要性を学びました。②ほめほめ大会では、初対面の親同士が何でも良いので互いに褒めます。髪型がきれいですね、洋服が素敵ですねなどです。褒められて悪い気分はしません。子どもが学校でどの様な事を学んでくるのかを知りました。

次に、「話の聞き分け（本音を引き出す）」では、様々な例題に基づきロールプレイを行いました。「聴く」を実践し耳を傾け、相手の気持ちを理解し、子どもの話を最後まで聴き、発言をうながします。そうして本当に言いたい事、裏にある事を読みとる事を学びました。話を聴く際には、相槌（うなづく）と繰り返しも効果的との事です。

最後に「ささやかなプラスの一言」です。良い行いをしたという子どもからの話を聞き終わった後に、次につながる様な「ささやかなプラスの一言」をそえます。

例えば、子ども：「今日、給食の準備中、お友達が一人で重たいお盆を運んでいたから手伝ってあげたの。先生が見ていたみたいで、帰りの会の時、みんなの前で褒めてくれたんだ。」親のプラスの一言：「すごいね。うれしいね。また手伝ってあげてね。」などです。その一言で自己肯定感が高くなり、自分を好きになり他人にも優しくなれるというのです。

忙しい日常生活においては、頭では理解できていても、なかなか思うようにはいかない事も多くありますが、何気ない話の奥に、もしかしたら子どもからの重要な伝えたいメッセージが隠されているのかもしれない。今回の講習は我が子とのコミュニケーションのとり方を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。今一度、子どもとのコミュニケーションに向き合ってみたいと思います。

「そろえる」を合言葉に体験したみどりの教室(舘岩少年自然の教室)

末永 博康

大宮小学校に着任して三か月が経った。5年の学年主任を命じられた自分にとって、まずは6月の「みどりの教室」を成功させることが大きな目標であった。

みどりの教室に向けて、一つの大きな目標を子ども達に伝えた。それは「そろえる」という言葉である。この「そろえる」の意味をさらに大きく2つに絞った。一つ目は、「物をそろえる」こと。二つ目は、「心をそろえる」ことである。

「物をそろえる」とは、靴をそろえる・スリッパをそろえる・ロッカーの中をそろえるなどの自分の物やみんなが使用する物をきちんとそろえることである。

「心をそろえる」とは、挨拶や返事をそろえる・言葉遣いをそろえる・黙働清掃をそろえるなどみんなの一つの事を協力して活動することである。

この「そろえる」を目標に毎日子ども達に呼びかけてきた。初めは、下駄箱の靴やスリッパがなかなかそろわなかったが、時が過ぎていくことによってそろえることの大切さや気持ちよさに気づくようになり、物がそろえられるようになった。さらに一言も話さずに黙って掃除する子ども達の様子も見られるようになった。

挨拶や返事は、相手の目を見て元気に挨拶できるように私自身が積極的にどの子ども達にも挨拶をするように努めてきた。子ども達も笑顔で挨拶する様子が毎日見られるようになった。黙働清掃は、我慢する心がなければできないが、子ども達が熱心に努力している姿が見られるようになった。このように子ども達は、「そろえる」ことを意識し活動を続けてきた。

さて、三泊四日の「みどりの教室」は、天候に恵まれ、多少の雨を心配することもあったが5学年全員で様々な活動を全てやり遂げることができた。特にキャンプファイヤーや尾瀬ハイキングでは、自然に触れ、その雄大さと素晴らしさを味わうことができた。また、イワナさばきでは、尊い命をいただく感謝の心や源流体験では、自然の厳しさを味わうことができた。さらに星空の観察では、大宮では見られない満天の美しい星に感動することができた。

このような素晴らしい体験ができたのも子ども達一人ひとりが「そろえる」という言葉の意識をもてたからだと思う。さらに、校長先生を始め、私たち教員も心をそろえることができたからだと強く感じている。みどりの教室に向けて取り組んできたこと、みどりの教室で経験したことを生かし、「みんなでそろえる」という意識をもって今後も続けていきたい。

終わりに、「みどりの教室」のためにいろいろとご協力して下さった保護者の皆様方に、心から感謝を申しあげたい。ありがとうございました。